

元気いっぱいやり切った

弦打小学校体育発表会「ねっけつ祭」



♪「ジャンプ! Jump!!」(3年生)



昨年度卒業制作の入退場門が彩りを添える

令和2年10月18日、弦打小学校の運動場で、体育発表会「ねっけつ祭」が開催されました。5月から延期されていた運動会は、体育発表会の形式となり、新型コロナウイルス感染症を予防するために様々な工夫がこらされました。

身体が接触しない競技・遊技が行われたり、長時間の密集を避けるため2学年ごとに3グループに分けて実施されました。また参観は原則保護者のみ、さらに見学場所も発表学年の保護者を優先した入れ替え制となりました。

そんな中でも、「最高の思い出を〜一人ひとりが『一生懸命』な



♪「絆〜感謝 思い出 友情〜」(6年生)

かまと『協力』〜」のテーマのもと、練習を重ねて全力を出し切った子どもたちの輝く表情は、本当にすてきでした。

新型コロナウイルスの影響で学校行事はこれまでと違った形となりますが、一日も早く安心して、子どもたちの笑顔があふれる行事を開催できるよう期待しています。



♪「豊かな瀬戸内海〜未来へつなごう〜」(5年生)



保護者らの声援に応え懸命に走る



♪「たんけんに行こう!」(2年生)



♪「紅蓮華ソーラン」(4年生)



♪「みんなとっしょにやってみよう」(1年生)

コロナ対策し 防災訓練



受付での検温



メッセージで測定、避難者スペースを決める

令和2年9月27日、弦打校区自主防災訓練が弦打小学校、コミュニティセンターを会場に実施されました。目的は風水害や地震等の自然災害に備えて、避難所を開設し、住民の受け入れ態勢を確立することです。今回は特にコロナ対策として、受付での検温・手指消毒及び避難所内での3密回避に周到的配慮がなされました。その結果、参加者は各自治会長・会員、コミュニティ協議会防災関係役員、消防団弦打分団員、弦打小学校長、弦打幼稚園長、弦打保育所長、エデンの丘・ヨハネの里職員、駐在所長など約100人に限定されました。

本部、避難者管理、情報、資機材、施設管理、救護、食料・



3密を回避して行われた校区防災訓練

生活物資の班別組織を編成して、相互に緊密な連携をとりながら、それぞれ、班ごとの特色・機能を発揮する訓練を実施しました。(主催・弦打校区コミュニティ協議会防災部会、弦打校区自主防災会連絡会、共催・高松市西消防署、高松市消防団弦打分団)



子ども防災キャンプの参加者(弦打キッズクラブ提供)

また、26・27日には弦打キッズクラブの28人が参加して「子ども防災キャンプ」が行われました。防災部会員の指導で学習やマイタイムラインを作成しました。

■ 静か、厳かに岩田神社秋祭り

カネ、太鼓の音がなく、令和2年10月3、4日は静かな岩田神社の秋祭り。新型コロナウイルス感染防止のため、神事、みこし渡御、浦安の舞奉納などは予定通り行われましたが、獅子舞の奉納中止など規模を縮小して実施しました。



獅子舞奉納がなく静かな岩田神社秋祭り

例年であれば勇壮に獅子が舞い、カネ、太鼓がにぎやかに鳴り響き、みこしの先導をしましたが、今年は静かに、厳かにみこしが御旅所を往復しました。

神事では、秋の収穫に感謝するとともに、特別に新型コロナウイルス感染症の終息も祈願しました。

■ 弦打校区のコミュニティ活動PR

地域コミュニティ協議会の活動を高松市民に紹介し、関心を持ってもらうとともに、自治会への参加をPRする「自治会加入促進展示」が、令和2年11月1日から6日まで開かれました。

会場の瓦町FLAG(常磐町)の展示コーナーには市内のコミュニティ協議会の活動をパネルや広報誌などで紹介していました。弦打校区コミュニティ協議会は「変わる日常 支える絆」の見出しに、自主防災訓練、児童の体育発表会などの写真をパネルに表して、活動をアピールしていました=写真=。



■お知らせ■「広報つるうち」令和2年7月号は休みました。